



令和5年 年頭のごあいさつ

新しい時代のスタート

佐世保市長 朝長 則男

8つのリーディングプロジェクト

- ①名切地区再整備
- ②特定複合観光施設 (IR) 誘致
- ③クルーズ船入港体制整備
- ④俵ヶ浦半島開発
- ⑤基地との共存共生
- ⑥企業立地・新工業団地整備
- ⑦世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産・日本遺産の活用
- ⑧英語が話せる街 佐世保

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、陽性者のケアやワクチン接種などに従事される医療関係者をはじめ、社会を支えていただいている皆さまに、心から深く感謝いたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の周期的な波に翻弄ほんろうされつつも、市民の皆さまがそれぞれの立場で取り組みや努力を重ねられ、また、国や県と役割を分担しながら数次にわたる経済対策を実施したことなどによって、経済も幾分持ち直しの傾向が見ら

れました。

一方で、ロシアによるウクライナへの侵攻や我が国の低金利金融緩和策の長期化によるエネルギー・食料品などの価格高騰が市民生活を圧迫するという厳しい状況も続いており、この国際情勢や経済環境は、新年も当面続くことが予測されます。

さて、佐世保市において、昨年は市制施行120周年の記念すべき年でありましたが、ことしは4年に一度の統一地方選挙の年であり、4月には「長崎県議会議員選挙」「佐世保市長選挙」「佐世保市議会議員選挙」が実施される重要な年となります。

そのような中、私は平成19(2007)年から市民

の皆さまの温かいご支援とご指導を賜りつつ、佐世保市長を4期16年務めさせていただきましたが、今限りで市長を退任する決意をいたしました。

市長は、佐世保市を代表し、市政を執行するという大きな役割と責任を担っています。今回の市長選挙は、佐世保市制121周年の新しい時代のスタートとなる非常に重要な選挙となることを市民の皆さまにご理解いただきますよう、お願いいたします。

私自身といたしましては、佐世保市長として「新時代に対応したまちづくりの道筋」を付けることができたのではないかと考えております。令和5年4月29日の任期満了までは、新型コロナウイルス感

染症対策をはじめ、「8つのリーディングプロジェクト」や「第7次佐世保市総合計画」の確実な推進、石木ダムの建設促進、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進、基地政策、西九州自動車道の建設促進や東彼杵道路の事業化など、山積している課題や懸案事項についてしっかり取り組んでまいりますので、市民の皆さまには引き続きご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年も市民の皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、素晴らしい年となりますようお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



展海峰から望む九十九島